

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援元気キッズ ビブリ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		~ 2026年 2月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		~ 2026年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教材や運動器具が充実していること	ひとつの教材で様々な用途で療育を行っている	引き続き個々に合った教材・課題の提供
2	専門の資格を持った職員がいること	身長などに合わせた補助具を用意	姿勢や体勢に合わせた机や椅子の用意や補助具の提案

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午後の利用者希望が多いこと	午前の利用者が少なく午後に集中しやすいが午後の枠が 一枠のため受け入れ人数に限りがある	午後の時間の使い方の検討を行う
2	広い部屋と個室の使い方	午後の時間帯に児童発達支援と放課後等デイサービスのお子さまがご利用されるため部屋の割り振りが固定になり つつある、広い部屋や吊り遊具など柔軟にお子さまに合わせて使用できるようにしていきたい	午後の時間帯の部屋の使用の仕方の検討を行っていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援元氣キッズ ピブリ

公表日 2026年 3月 30日

利用児童
数 39

回収数 31

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	1	0	1		・定員人数に合った広さを確保しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	1	4		・配置人数に合った職員数になっております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	3	1	2		・入口に階段があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	2	0	1		・作業療法士、保育士、実務経験のある職員が対応させていただいております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	2	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	31	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2	0	3		・面談等を設けさせていただき、今後も変わらず、お子様一人ひとりに合わせた支援内容を考えていけたらと思います
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	4	0	1		・職員全体で目標に向かって支援を行っていきけるよう心がけております。今後も変わらず、細かい視点を持って支援を行えたらと思います。よろしく願いいたします
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	3		・同じ目標に対しても様々な視点から、お子様一人ひとりが楽しむことができるような遊びを今後も提供していけたらと思います
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	13	4	7	7		・幼稚園や保育園と行った施設との交流は、お時間や場所の確保を含めて行っていない様子もありますので、必要に応じて検討していきます
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	2	0	1		・ご契約時にご説明させていただいておりますが、ご不明点がございましたらいつでもお話しください	
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1	0	0			
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	8	6	9		・ペアレントトレーニングに関しては、市から送られた資料等を提示しております。今後は送られてきましたら皆さまがわかりやすいような場所を考えていきます	
15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	4	0	1		・フィードバック時間を10分ほど設けさせていただいており、その日の様子や変化等を直接説明させていただいております。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	1	0		・都度親御様からご質問等をいただいた際は、お時間をいただき、面談や電話にて後ほどご相談等のご対応をさせていただいております。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	2	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	5	13	8		・父母会に関しては、個人情報等の観点からも現状開催はできていない状態です。皆様の意見を元に今後検討していけたらと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	5	0	1		・相談に関しての話をいただいた際には、必ず職員が対応できるようにしております。また、相談内容に寄っても専門職員がお話を聞く等の対応をしておりますので、今後も相談等をいただけたらと思います
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2	1	0	迎えの時間について、外などで待たされることが多く、話が長くなる可能性があるため、ゆとりのある時間設定をしてほしい	待つことが多くなってしまい大変申し訳ございません。時間でのフィードバックに努めてまいります
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	0	5		・元気キッズのホームページに記載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	2	0	0		個人情報については十分に気をつけて対応しております
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	0	3	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	0	1		・毎月避難訓練を行っています
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2	0	1		・毎日職員同士のフィードバックの際に、ヒヤリハットの報告等をしております。今後も安全・安心して通うことができるように日々努めてまいります
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1	0	8		・事故や怪我が伴う際にはすぐに周知をさせていただいております。傷がない際もぶつけてしまった等の事案があった際には、フィードバック時に状況を含めてお伝えさせていただいております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1	0	0		皆さまが安心して通えるように心がけていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	0	1	疲れや体調が悪い時などは、通所の前に行くことに対し不安を口にする場合がありますが、行ってからは楽しかったと活動し内容を親に教えてくれます	入室時などにお子さまの様子をお聞きし体調や疲れに配慮して活動に取り組んでいければと思います
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0		満足度100%を目指していきます！

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援元気キッズ ビブリー		公表日		2026年 3月 30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	日によっては全室使用しており個別対応が必要な際個室がうまっていることもある→マット等の仕切りで対応 小集団の中で部屋の仕切りが必要な場面ではマットや衝立など使用し部屋を分けている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	外部評価等他事業所から見学に来てもらうなど工夫をしていきたい	外部評価は行われていないように思います	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	研修機会は少ないように思うが、外部職員からの定期的な訪問・アドバイスをいただいている 子ども部会や外部研修等には積極的に参加していく		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	統一したアセスメントツールを使用できるようにしておく	標準化されたアセスメントを定期的に行う必要はあるか(少し不足しているようには感じる)
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	昼礼にて毎日振り返りや情報共有を職員間で行なっている 細かな情報共有や報連相を職員が意識をもって行っていく	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	
25		地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	保護者を通して教えていただいている こちらから積極的なお声掛けを行い、情報の共有を行っていく	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 (31は、事業所のみ回答)				

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	療育時間の中で交流が難しいが事前に企画したイベントとして時間を延長した交流が必要であれば行っていく	なかなか機会がないように感じる
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	面談時間を設けるなど必要に応じて対応していきたい	フィードバック時に情報提供やアドバイスを行うが時間が足りない部分もある
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	保護者同士の交流の場をこちらからは設けていない。フィードバックの際、顔を合わせることから交流が広がっている場面はみられる個人情報の観点から保護者会は開催していないが、必要な話があった際は開催も検討していく	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	年に1回建物内のイベントに参加している。今後も継続していき地域に根づいた施設を目指していく	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	マニュアルに沿った研修のほかに職員体制や新年度など体制の変化があったタイミングで都度周知を行っていく	認識がなくても虐待に該当するケースもありえるため定期的な研修の必要性は感じます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		